



## ピュア・アンド・シンプル

複雑をきわめた今日の世界である。時にはシンプルなものがあってもよいのではないだろうか。パテック フィリップの著名なカラトラバ・コレクションが誕生80年を迎える。これと時を同じくして新しいミニマリスト・モデルが発表された。その詳細を解説する。

文 ジャン・フィリップ・アルム 翻訳 小金井良夫

2012年のバーゼルワールドでパテック フィリップが発表した新作二十数モデル中、技術的側面を忘れさせる燦然たるジュエリー・ウォッチを除くと、すべてのモデルが、少なくともひとつの追加機能を備えていた。カレンダー表示からミニット・リピーター、クロノグラフからトゥールビヨン、ワールドタイムから天文表示まで、すべてがパテック フィリップの最高の技術を体現している。この中であって、手巻ムーブメントに時分、秒表示のみの5123モデルは例外的である。著名なカラトラバ・コレクションの誕生80年と時を同じくして発表されたこのピュアでシンプルなタイムピースは、それゆえに格別の評価に値するといえよう。5123モデルは、パテック フィリップの歴史と伝統の真髄

を垣間見せるモデルである。そしてパテック フィリップの歴史と伝統を最もよく語ることでできる人物は、フィリップ・スターン氏をおいて他にはいない。パテック フィリップはふたつの異なる顔を持つているが、その各々が同社のたどってきた道筋を反映している。ひとつはイノベーションであり、その成果が高度な新技術の開発として実現されている。近年ではその例として、機械式ムーブメントの調速機構、すなわち髭ゼンマイ、脱進機、テンプの未来を決定づける「Sironia<sup>®</sup> Pulsomax<sup>®</sup>、Gyromax<sup>®</sup>」の開発が挙げられる。今ひとつの道筋は伝統であり、パテック フィリップの過去の豊かな歴史に立脚したモデルとコレクションの発表にこれが体現されている。パテック フィリップのこのふたつの面は、名誉会長フィリップ・スターン氏にとってどのような意味を持つのだろうか。

フィリップ・スターン（以下、PHS） これらはいずれも当社の選んだ道筋ですが、ノーチラスとアクアノートに代表される、スポーツウォッチという第3の道もつけ加えねばならないでしょう。当社がコンプリケテッド・ウォッチの分野において長い歴史を持ち、この分野における原動力はイノベーションであることはもちろんです。当社では毎年、新しいムーブメントを発表し、既存のコンプリケテッド・ムーブメントにさらなる複雑機能を追加していきます。例えばクロノグラフにフライバック機能を追加するなどです。またアドバンストリサーチ部門では、当社製品のさらなる精度と信頼性の向上を目指し、絶え間ない努力を続けています。ジャン・フィリップ・アルム（以下、J・PA） コンプリケーションとイノベーションへの注力が一連のニューモデルから見るとれるわけですが、ここで



5123モデルという、クラシックでシンプルな立脚したモデルが発表されました。なぜ、このようにして新しいカラトラバ・モデルは生み出されるのでしょうか。これまでのモデルとの違いは？ 変化はデリケートなものだと思いますが？

**PHS** 私たちの考えははつきりしていました。シンプルなラウンド型で、一目でパテック フィリップのカラトラバと分かるタイムピースです。自然な、わざとらしくない美しさも重要です。難しさは、スタイルを保ちつつ、いかにコレクションを発展させていくか、という点にあります。きわめて小さな、微妙な変化によつてのみそれは可能となるのです。このモデルは、1950年代のカラトラバ・モデルからインスピレーションを得ています。

**J・PA** 伝統的なモデルを現代化する際、主に文字盤を変えるのですか、それともケースでしょうか。

**PHS** このモデルの文字盤は、ニュートラルなシルバールインで、ファセット（切子面）仕上げの長方形ゴールド植字インデックスを備えています。スモールセコンド表示をシンプルなものにし、1分を4分割する十字のみを記しています。この方法は、もちろん過去にも行われたものです。しかし5123モデルはさらに一層洗練されています。より気品があり、控え目です。**J・PA** たいへんスリムに見えます。ケース径38ミリに比べ文字盤が大きいですね。ケースもかなり研究なさったのですか。

**PHS** その通りです。とりわけ斜めになったベゼルとケースバックには、工夫が凝らされています。ケースは異例な構造を持っており、ラグが短く、しかも低い位置に付いています。このため、スレンダーなベゼルが周囲から浮き出して見えます。シンプルでピュアなラインを追求するならば、できるだけ無駄な素材

を削ぎ取る必要があるのです。**J・PA** ケースの巾身にもそれが言えそうですね。手巻ムーブメントを搭載しているという意味です。

**PHS** ゼンマイを巻き上げることで、タイムピースに新しい生命を吹き込むことを好むお客様がいます。この方たちにとってそれは一種の儀式であり、自動巻を着用することは考えられません。テクノロジーがこれほど発達した今日、驚くことにその数は、若い世代を含めて増加しています。

**J・PA** バーゼルワールドで5123モデルは非常に成功を収めたようですが。

**PHS** 反響はきわめて良好でした。経験から、このようなモデルは広範な支持を得ることが分かっています。実はシンプルにすることが分かっています。文字盤やケースに本質的でない要素をつけ加える方が容易なのです。

**J・PA** パテック フィリップの最新動向に熱狂する愛好家は、もちろんグランド・コンプリケーションに惹かれるわけですが、非常に高価なタイムピースをすべての人々が購入できるわけではありません。シンプルなモデルを提供することにより、顧客層を広げたいという意図をお持ちなのではないでしょうか。

**PHS** もちろんあります。これらのお客様は、パテック フィリップの伝統に忠実な、しかも他のすべてのモデルと同じ精緻な仕上がりで、伝統的時計製作技術に準拠して設計され、製作されたムーブメントを搭載したタイムピースを購入できることをうれしく思っています。

**J・PA** このようなモデルがより多数生産される可能性があるということでしょうか。

**PHS** それは違います。パテック フィリップのすべてのモデルは少量生産です。毎年僅かずつ生産が伸びてはいます。しかし各モデルの生産個数はきわめて控え目なものにとどまっています。

**J・PA** 完璧なシンプルさを持つ5123モデルの創作に深く関与されたそうですね？



子の嫁、息子、そして私自身のチームワークであり、決断も合意で行います。カラトラバにニュールックを与える、シンプルなタイムピースを創作したいと思つたのです。私自身はとりわけ文字盤に関わりました。特にクリーンで清楚な文字盤が流行した1950年代から1960年代を研究したのです。これはクラシックなデザインですが、決して流行遅れにはならないデザインなのです。**J・PA** 時を超越した美しさの下に、このカラトラバは、1932年のバージョンでも1950年代のバージョンでもなく、明らかに現代のムーブメントを秘めています。キャリバー215 P.S.の髭ゼンマイは、2008年から徐々に現行コレクションに導入されてきたシリコン・ベースの新素材Silimar<sup>®</sup>製です。**PHS** 当社は、常に製品や機構の改良に努力を続ける時計製作者の伝統に属しているのです。インヴァー合金が使われるようになったその昔と同様、今日、髭ゼンマイのような重要部品にシリコン素材を採用することの重要性は、もはや疑問の余地のないところとなつていきます。革新が伝統そのものである場合、「伝統が革新か」という二者択一の問題はもはや存在しないのである。✦ オナー専用サイトの「パテック フィリップ マガジン・エクストラ」(patek.com/owners)にて、特別関連コンテンツを閲覧いただけます。